



平成28年3月15日

校長室便り

文責 小川小 福本憲穂



初市お世話になりました

雲一つ無い好天にめぐまれました。商店街の皆様、お世話頂いた方々、大変有り難うございました。前日の準備、終了後の後片づけと保護者の皆様の多数のお手伝いがあり、無事盛大に終えることが出来ました。子供達の姿、いかがでしたでしょうか。授業参観日にも校内放送で流しましたように、前日は、RKKのミミー号が小川小にやってきて、5年生6年生が出演し、ミーキャスターさん、太田黒浩一さんが応援して頂いたこともあり、町外からのお客さんも増えたかなとも思いました。6年生も完売、5年生の小川っ子ランチも大好評、各売り場での子供達の対応が良かつたと、今も学校にお話があります。低学年のマーチもかわいくて、よく頑張っていて好評でした。

『地域と共に、体験活動、人と交わる、一生懸命準備する、ダンドリを学ぶ、知恵と工夫を發揮する、』が各々にできたかなと嬉しいところでした。「小川を盛り上げるために頑張った経験、頑張って褒めていただいた経験」は、ふるさと小川を愛する心の醸成にもなりました。これからも小川っ子に声をかけていただきたく（長所にも短所にも）お願ひ致します。

【児童会選挙】 2月16日（火）、6年生を中心とする選挙管理委員会により、来年度の新役員選挙が行われました。立候補の演説会には、会長候補、副会長候補、書記候補へ、計14名が立候補し、応援者とともに、自分が思うよい小川小学校、小川っ子の絆づくりについて一生懸命に全校児童に語りかけました。改めて、いじめのないやさしい、そして楽しい学校を子供達は望み、いい伝統を残していくことを考えていました。決定した新役員は、児童会長に高橋かいと君副会長に成田しよう君と新5年生の小野ようたろう君、書記に白石りおん君と新5年生の竹村ゆかさんに決定しました。惜しくも役員に入らなかった9名の皆さんにはぜひ、委員会で中心になって頑張って欲しいと考えています。3月4日（金）に任命式をしましたが、選管の子供達の達成感にあふれた顔、新役員となった子供達の緊張と決意と覚悟の表情に大変感銘しました。子供達には「小川小の全員でこれからもいい学校をつくっていきましょう。会長さんが会長として頑張るため、児童会の役員さんがリーダーになってみんなの小川小をつくるためには、全員の協力が必要なのですよ」と話しました。

【お別れ遠足】 3月11日（金）、新児童会役員のリードによるお別れ会をしたあとに、竜北の運動公園まで歩き、楽しんできました。当日は、お弁当作りにチャレンジする日にも設定されており、道中では、おかげの中身、前日からお家の人とお弁当作りをしたことなどを子供達が次々と話していました。6年生の岩崎ゆいさんは、先生や友だちに分けてあげようと卵焼きを多めにつくって持て来っていました。甘みとうまみと愛情がいっぱいに広がる卵焼きが思い出に残りました。他にもお裾分けしようしてくれた優しい子供達が何人もいました。「家に帰ったら、「お弁当おいしかった。ありがとう」って言うんだよ。」と話しましたが、いかがでしたか。休み時間が終わって集合場所に戻るとき、3年生の田守あきひろくんが、遠くに忘れてあった赤白帽子を見つけて、取りに行きました。集合場所を目指す途中で忘れた子が戻ってきました。帽子の受け渡し「ありがとう」「うん」の言葉交わし、一緒に駆け上がっていく姿はとても微笑ましいものでした。あらためて、優しさと頑張りと知恵と工夫を育てていきたいものだと思いました。

<今学校では、> 子供達の教育は、知育（学力向上）・徳育（心の育成）・体育（健康でたくましい心身）の3本に食育が加味されて『生きる力』を育むことです。さて、体育においては、小学校運動部活動の社会体育移行について論議が進んでいます。宇城市では、新年度早々に準備検討委員会が設置される模様となっています。メンバーは、市教委、学校代表、PTA代表、社会教育（体育）他、種々の分野から選ばれるようです。心身の健全育成、特に小学校期は、全般的な運動能力・体力を培い、少年期から青年期、壮年期に向けて、故障なく自己の力が発揮でき、運動に親しむ素地をつくることにあります。間違っても勝利至上主義にて心身の故障や偏りを生まないようにしなければなりません。社会体育と学校教育の連携が大事です。小川小学校では、小中連携も考え、技能を含めた基礎体力の養成、運動の楽しみ、頑張る心、他者意識・他者貢献の心等を育成するために、平成30年度以降を見つめて、協議を続けています。

【卒業証書授与式24日、修了式25日、始業式8日、入学式11日】

6年生の卒業まで、あと9日となりました。担任の宮本ルミ教諭始め諸先生方の心づくしの一年間でした。担任はもとより全職員が、明るく元気で、届かない6年生が卒業することに祝福と共に寂しさが一杯のこの頃です。私も、一人一人の“頑張ったときの顔”そして保護者の皆さんの活動が思い浮かんできます。また、1年生から5年生にあっては、この一年間の成長を糧に学年が一つ上がり、さらなる成長を期待しています。それぞれの学年の子供達が、先生と一緒にこの一年間で成長したなあと感慨を持つこの頃です。特に4、5年生の上級生グループからは、6年生の後を継いで、小川小の上級生として頑張るんだという思いがよく伝わってきます。末筆になりましたが、保護者の皆様のこの一年間の小川小学校への『愛校の心』に深く敬意を表し、感謝申し上げ、本年度最後の校長室便りとさせていただきます。有り難うございました。